

## 2009年3月期 中間(第2四半期連結累計期間)業績の概況と今後の見通し

## 連結損益計算書のポイント

POINT

1

## 売上高－前年同期比 4.1% 減収、営業利益－前年同期比 9.8%減益

世界的な景気の減速、設備投資需要の低下の影響を受け、売上高は前年同期比4.1%減の164億1千4百万円となりました。一方、国内において収益力の高い主力製品群が比較的堅調に推移したこともあり、売上原価率は前年同期比0.3ポイント改善しましたが、売上高の減少による利益減をカバーするにはいたらず、営業利益は前年同期比9.8%減の19億2千7百万円となりました。

POINT

2

## 第2四半期純利益－減損処理による特別損失を計上

投資有価証券評価損2億6千4百万円および持分法による投資損失4億1千1百万円を計上した結果、第2四半期純利益は前年同期比38.5%減の7億4千5百万円となりました。

POINT

3

## 通期業績予想－売上高 340 億円、営業利益 42 億円

下半期においては、主力製品の一層のシェアアップ、比較的好調な安全関連製品、LED 応用製品の拡大を図り、年間業績予想は売上高340億円、営業利益42億円、経常利益41億5千万円、当期純利益20億円としています。

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間	増 減	増減率	通期業績予想	前期比
売上高	16,414	17,110	△695	4.1% DOWN 	34,000	98.4%
営業利益	1,927	2,137	△209	9.8% DOWN 	4,200	96.2%
経常利益	1,956	2,120	△163	7.7% DOWN 	4,150	105.9%
第2四半期(当期)純利益	745	1,212	△467	38.5% DOWN 	2,000	89.2%

※より詳細な財務情報をご希望の方は、IDECホームページ「投資家情報」([http://www.idec.com/jpja/investor\\_center/index.html](http://www.idec.com/jpja/investor_center/index.html))に掲載している決算短信をご利用ください。

## 連結貸借対照表のポイント

POINT

1

### 総資産－前期末比 1 億 5 千 1 百万円増加

前期末に比べ、売掛金が減少しましたが、リース会計基準の変更にもなって有形リース資産を計上したこともあり、総資産は1億5千1百万円増加し、378億5千2百万円となりました。

POINT

2

### 負債総額－前期末比 1 億 6 百万円減少

主に退職給付引当金の増加、リース債務の計上などにより、固定負債は前期末に比べ増加しましたが、支払手形及び買掛金、未払金などの流動負債の減少により、負債総額は1億6百万円減少し、99億4千万円となりました。

POINT

3

### 純資産－前期末比 2 億 5 千 8 百万円増加

その他有価証券評価差額金の減少、為替換算調整勘定の減少などにより、純資産は前期末より2億5千8百万円増加し、279億1千1百万円となりました。

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末	前期末	前期末との増減
流動資産	21,661	21,502	158
固定資産	16,190	16,197	△6
流動負債	8,332	8,845	△513
固定負債	1,608	1,201	406
純資産	27,911	27,652	258
総資産	37,852	37,700	151

※より詳細な財務情報をご希望の方は、IDECホームページ「投資家情報」([http://www.idec.com/jpja/investor\\_center/index.html](http://www.idec.com/jpja/investor_center/index.html))に掲載している決算短信をご利用ください。

## 地域別・製品別業績のポイント

POINT

1

### 国内売上高ー前年同期比 2.5% 減収、アジア地域堅調を維持

国内売上高は、特に半導体関連設備・自動車関連設備における設備投資抑制の影響を受け、104億6千2百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

海外売上高は、アジア地域は依然として堅調を維持しましたが、北米地域における円換算ベースでの売上減少、欧州地域でのOEM製品の売上減少の影響により、59億5千1百万円（前年同期比6.8%減）となり、海外売上比率は、前第2四半期連結累計期間の37.3%に対して1ポイント減の36.3%となりました。

POINT

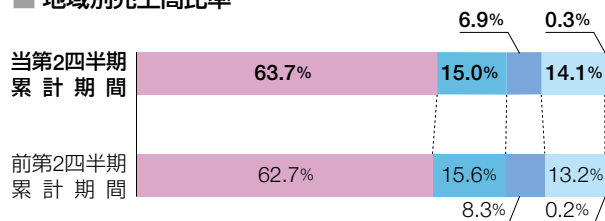
2

### 主力制御機器製品ー売上高堅調に推移

制御用操作スイッチ、安全関連機器、産業用LED照明ユニット、リレーなどが堅調に推移し、当社の主力製品群である制御機器製品が、前年同期比1.5%増となりました。一方で、欧州向けOEM製品であるプログラマブルコントローラの減少により、制御装置及びFAシステム製品については、前年同期比16.0%減となりました。

#### 地域別売上高

##### ■ 地域別売上高比率



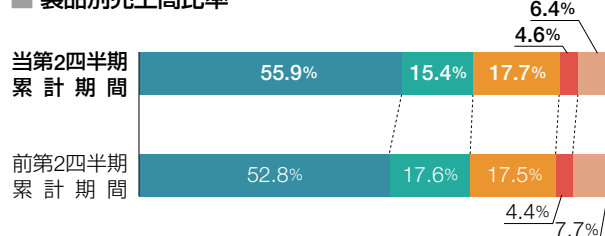
##### ■ 地域別売上高 対前年同期比較

(単位：百万円)

地域区分	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	前年同期比
日本	10,462	10,726	97.5%
北米	2,468	2,669	92.5%
欧州	1,124	1,426	78.9%
アジア・パシフィック	2,313	2,252	102.7%
その他の地域	45	34	130.9%

#### 製品別売上高

##### ■ 製品別売上高比率



##### ■ 製品別売上高 対前年同期比較

(単位：百万円)

製品区分	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	前年同期比
制御機器製品	9,173	9,035	101.5%
制御装置及びFAシステム製品	2,526	3,008	84.0%
制御用周辺機器製品	2,909	3,001	96.9%
防爆・防災関連機器製品	756	752	100.5%
その他の製品	1,047	1,312	79.8%

## 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期末に比べ、8億3千3百万円減少し、70億6千6百万円となりました。

POINT

1

### フリー・キャッシュフロー、10億8千6百万円の収入

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億1千7百万円の収入となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得により5億3千1百万円の支出となりました。

その結果、フリー・キャッシュフローは10億8千6百万円の収入となりました。

POINT

2

### 財務活動によるキャッシュ・フロー、10億2千1百万円の支出

主に配当金の支払、リース債務の返済による支出などにより、財務活動によるキャッシュ・フローは10億2千1百万円の支出となりました。

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,617	1,879	△262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△531	△765	234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,021	△686	△334
現金及び現金同等物に係る換算差額	121	△18	139
現金及び現金同等物の増減額	186	408	△222
現金及び現金同等物の期首残高	6,880	7,490	△610
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,066	7,899	△833

※より詳細な財務情報をご希望の方は、IDECホームページ「投資家情報」([http://www.idec.com/jpja/investor\\_center/index.html](http://www.idec.com/jpja/investor_center/index.html))に掲載している決算短信をご利用ください。